



港工同窓会 ニュース

第10号

平成23年4月20日発行

発行責任者 前田武男

二十三年定期総会開催を 迎えるにあたって

港工同窓会会長

港全3期電力科 前田 武男

港工同窓会は昭和36年ごろに活動休止以来、約28年間の長きに亘る休眠時代を経て平成元年に再興しました。以来23回目の定期総会を迎えます。

これまで多くの皆様のご尽力と、様々な軌跡を今日に至っておりますが、これも偏に会員の皆さん、そして会の存続や運営に係わった恩師や歴代役員の方々による情熱とご努力の結果であります。

さて、本会の諸活動は5000部を越える会報の発行一つを取り上げましても多岐に分かれる作業を役員の皆さんに分担してご協力を頂いております。その他の事業あるいは、会の運営面でも当然役員の皆さんが分担し、ボランティアでお願いしております。誠に申し訳なく常に感謝あるのみです。

尚、当会の財政面では、全卒業生の4%弱という500余名の賛助会費収入で全てを運営しておりますが、徐々に減少傾向をたどることは近年の状況であり、総会出席数にしましても同様です。何ともさびしい限り

であります。

昨年の会報(第9号)では総会返信はがきに近況や想い出などを記載して頂いた内容を掲出させて頂きました。

私共役員で案内状作成発送のアクションを起こしました。このことに対して会員の皆さんから返信のリアクションをお願いいたします。このことは役員各位にとつてどれだけ嬉しいことかご理解下さい。是非とも今回もお便り下さい。また、同窓会への感想や忌憚のないご意見もお寄せ下さい。

同窓生の皆さんには港工高が平成16年3月に廃校となっておりますことは既にご存じのところですが、以来新設の六郷工科高校では、港工高卒業証明の発行や、各種資料の保管室の提供、或いは会議室の借用など特別なご協力を頂いております。

六郷工科高文化祭(六郷祭)には毎年参加し、古い各種資料を展示公開しております。(A型フールドは正面玄関に常設されています)

有限の同窓会ではありますが、港工高の歴史と伝統を維持継承させていただきますと願っております。

◇平成23年度定期総会

記

日時 平成23年6月18日(土)13時より

(受付12時30分より)

場所 総会 六郷工科高等学校 2階大会議室にて 13時より

(京浜急行「雑色」下車徒歩3分)

懇親会 芝パークホテルにて 16時より18時まで

(J.R.「浜松町」8分、都営地下鉄「御成門」3分他)

会費 10,000円(総会のみの方は無料です)

内容 平成22年度事業・決算報告、新役員承認 ◎懇親会参加者には別途

平成23年度事業計画・予算案の承認その他 詳細案内状を送ります。

※会費は同封の郵便払込用紙の金額を賛助金共12,000円に訂正し郵便局

にて事前払込をお願いします(A.T.M.に払込用紙を挿入すれば可)

※準備の都合上、5月31日までに同封はがきで出欠近況等返信をお願いします。

A型フォードの思い出

東京都立六郷工科高等学校デュアルシステム科教諭
港(全)28期自動車科卒 杉野栄一

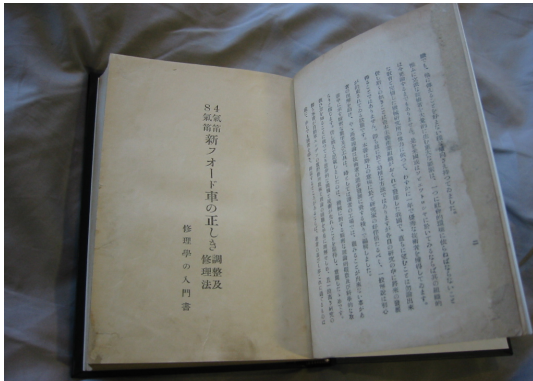
母校に入学して自動車実習室に初めて入ったとき黒いクラシックカーが目に入り、これがあの有名なフォード車なんだと感動しました。最初はあのT型かなと思っていましたが残念ながらA型でした。高校3年生のとき、自動車部の活動として港工祭までにフォード車が動くようにエンジンなどを修理しました。いろいろやった後(実際は何をしたか今は忘れましたが)エンジンを回すぞ。うわ・・・クラシクを回すのがない。顧問の増田先生が探し出してくださり、クラシクを何回か回すとエンジンが回りました。まずは成功。ナンバーはついていませんが実習室から校庭へ行くまでの慈恵医大前の道路で白煙をモクモク出しながら走り、事務室前の急なスロープも登り校庭に到着。大成功。あれから35年、今、フォード車は六郷工科高校の正面玄関に展示されています。当時の先端技術がギョツとつまつたクラシックカーであるA型フォード。生徒の目にはどう映っているのでしょうか。

ここで、展示されているA型フォードの生い立ちを紹介します。

昭和4年(1929年)に日本フォード横浜工場で生産されました。税所派海軍で使用され昭和15年から学生教材として東京都立航空工業高等専門学校にて使用され、昭和25年(1950年)に母校に移管され、実習などの教材として使用されました。母校の閉校後、平成16年(2004年)から六郷工科高校の玄関前で展示されています。

昭和26年発行の港工高新聞にフォード車についての記事が掲載されていましたので紹介します。
「タイヤのついていないフォード車を自動車科の3年生が芝浦自動車工場(旧トヨタ自動車芝浦工場)に実習へ行ったおり、学校にあるフォード車の整備をさせてもらえるようお願いし、会社側から許可を得た後、8月24日に校庭で組立ててその晩学校に泊まり25日朝5時頃から都大路を愛宕下から芝浦まで、タイヤなしで十数名の生徒が押し運び、夏休み中は毎日工場へ通い整備を重ねた結果、9月5日午後10時頃にエンジンが回ったそうです。」(記事より抜粋)

写真の本は、港工高の自動車科に平成元年から13年まで勤務された國分先生(現在は六郷工科高校・オートモビル工学科)が、昭和8年発行の「4気筒・8気筒 新フォード車の正しい調整及修理法」という修理書を復元してくださいました。持ち主は「三五四九部隊大竹部隊」の方です。これも大変貴重な資料です。



現在、私は六郷工科高校のオートモビル工学科にいます。もう修理はできませんが、入学式・六郷祭・卒業式などの前日にはほこりを取り、磨くことしかしていません。

展示されているA型フォードが生産されてから81年、母校に移管されて7年。六郷工科高校で展示されて7年の生徒をお迎えさせていただきます。

※事務局よりお詫び

昨年発行の会報臨時号・六郷祭案内文で、T型フォードと記載しました。A型の間違いです。

「私の心のふりやう」

旧(電気)全 小又 良一

港工なしでは私の人生は語れない
ほどで、良い思い出ばかりです。

私の心の「ふるさと」と云えるほ
ど、なつかしい場所でもあります。

「港」に赴任して間もなく、故森川
先生からすすめられ、モーツアルト
協会に入り、毎月一回、近くのイイ
ノホールでモーツアルト曲の演奏会
を聴くことができるようになり、私
とフルートの縁もますます固まり、
フルートクラブで文献の翻訳をした
り、演奏を教えたりするほどまで発
展、私の結婚にまで関係したほどで、
この点でも縁とはいえ、港とのつな
がりに感謝しております。

愛宕山のトンネルの入り口近くの
ペット屋で猫を買ったのも不思議な
縁で、死にかけていた、その黒い仔
猫も21才まで生きて、いろいろ好運
をもたらしてくれました。これも港
工に勤めていたからこそと、その縁
の不思議に感謝しております。

それに教職員が皆さん親切で、私
の音楽行動に非常に寛大であったこ
とも実にありがたいことでした。

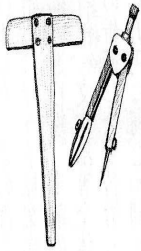
現在私は自動車事故に会ったりし
て体調不良ですが死を恐れないで進
んで行くこうと思っております。

あの頃、夜はあのイイノホールで
一休みして、お茶の水の語学の教室
「アテネフランセ」に通いフランス
語を習い、「仏作文」では逆に日本文
学のすばらしさを講師であるフラン
ス人の神父さんに教えられ、森鷗外
の文体の美しさを知りました。

「港」からイイノホール、アテネ
フランセとつながる週2〜3回の生
活は10年も続き、しまいには先生に
月謝はいらないから顔だけ出しなさ
いと言われる程で、それもこれも地
の利を含めて「港」が出発点であつ
たと感謝の念は消えませぬ。

今、私は日本の笛を吹くようにな
り、それが昂じて笛作りとなり、プ
ロの笛作りつまり「笛師」を名乗つ
て、能や長唄で使う能管を毎日作つ
ております。しかし無名のためもあ
り、1年に1本売れるかどうかで、
ほとんど無駄な生活ですが、こんな
ことでも続ける意欲が続くのは有難
いことだと感謝しながら、なんとか
生きております。

私の生活の源泉は「港」にありと
思っております。



岩澤欣一先生の葉山町旧商家
歴史的資料について
旧(教頭)全定 桑原 洋

日頃より、同窓会のお知らせをお
送りいただき、ありがとうございます
です。本日は岩澤欣一先生(機械科)
についての悲しいお知らせです。

岩澤先生から昨年7月4日付けに
て、朝日新聞の記事が載りましたと
の近況報告があり、11日にお礼状を
だしたところ、奥様から電話を頂き、
岩澤様は食道がんが悪化し、7月9
日享年66歳で逝去され、11日は告
別式で、お礼状は本人に見せられま
せんでした、とのことでした。

次の同窓会誌発行の際には、岩澤
先生のごに触れていただきたいと
存じます。どうぞよろしくお願い申
し上げます。

※記事要旨
葉山町の旧「岩沢茂左衛門商店」
に残された江戸時代からの貴重な資
料を茂左衛門7代目に当たる元教師
の岩澤欣一さん(66)が整理し、私
史にまとめた。商店は「もさえもん
さん(さま)」と親しまれた。欣一さ
んは膨大な古文書や商売関連の品々
の展示をほぼ終え、将来は身近な資
料館として子供たちに活用してほし
いと考えている。

商店は約300年前の創業とみら
れ、1995年、先代の時に廃業し
た。

欣一さんは高校や高専の教員を
40年以上勤めた。店舗兼住宅だった
建物を取り壊し、住宅を新築。旧納
屋にあった様々な文書、品々の梱包
を解いて系統だった整理を続けてき
た。

欣一さんが作った「岩澤茂左衛門
家 私史」は文書などをデジタルカ
メラで撮り、パソコンで編集した。
歴史的な資料を駆使して代々の茂左
衛門と家族の人物像を描いている。
私史は90ページを超える。

31 湘南 2010年(平成22年)7月2日 金曜日
葉山の旧商家に伝わる資料整理し私史に
江戸期からの群像描く
7代目の岩沢さん
葉山町の旧「岩澤茂左衛門商店」に残された江戸時代からの貴重な資料を茂左衛門7代目に当たる元教師の岩澤欣一さん(66)が整理し、私史にまとめた。商店は「もさえもんさん(さま)」と親しまれた。欣一さんは膨大な古文書や商売関連の品々の展示をほぼ終え、将来は身近な資料館として子供たちに活用してほしいと考えている。

返信はがきからの近況・想い出(特別会員・23年度)

旧(第10代校長) 村上 五雄

毎回ご案内をいただき、たいへん懐かしく、有難く存じております。前田同窓会長はじめ役員の方々のご努力に感謝申し上げ、欠席の御挨拶といたします。

旧(第12代校長) 関 透

港工教職員OB会も閉会となった今日、想い出深い愛宕の生活を同窓生と共に語り合う機会にしたら...。と思っております。

先生方も奮ってこの会に参加しましょう。同窓会に感謝!

旧(第15代校長) 小山 実

同窓会の発展を願っております。

旧(教頭)定 三谷 和夫

秋の愛宕祭で先生と生徒合同の劇など、また春は大崎高校をかりての体育祭(球技大会)、そして今も5時半、6時半には給食タイムを思い起こします。ご盛会をお祈りいたします。

旧(教頭)定 市川 勝緒

当節は皆様方には大変お世話になりました。有難く思い出しております。

旧(教頭)全 野上 明夫

早いもので、定年退職して3年目を迎えます。貴会のご発展をお祈り致しております。

旧(教頭)全 相川 英昭

幹事さんお世話さまです。小学校をすばらしい港工業高校へとしていた先輩の教員や同窓生の方々の苦勞を思い出します。

旧(事務長)全 福田 和廣

毎年の同窓会の御案内をいただきまして、ありがとうございます。そのたびに、なつかしい「港工」のでき事を思い出しております。現在「総合芸術高校」の開校2年目の仕事をしております。なにかの折にはお訪ねください。

旧(事務長) 田辺 秀典

3月11日の東日本大震災時は帰宅出来ず、港工近くの勤務地に泊まりました。港工に盗難があった時以来の深夜の新橋を体験しました。

旧(自動車)全 豊山 州生

皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

旧(電気)全 山田 信幸
・畏敬、小澤先生の死去を悼む(用務員室で始業のベル迄)

授業は「オームの法則」と「ゲエテの対話」エッケルマン

卒業集合写真は愛宕神社の出世階段 岩波文庫(90円)

校舎の裏に古き床屋と印刷所

六平先生(子息(俳優直政)の活躍が自慢

旧(機械)全 佐野 元

高齢(88才)で体調が出席を許しませんので、欠席をお許し下さい。東京での教員生活(8年)を港工業高校で過ごしましたことは深く心に残っております。ご出席の方々によりしくお伝え下さい。

旧(電気)全 加藤 琢二

今回こそは参加したい、ずい分永いことこの御無沙汰です。でも声が充分に出すことはだめです。

旧(理科)全 神谷 一郎

定年退職して3年目となりますが、八王子東高校で非常勤教員として教えています。皆様のご健勝を祈念いたします。

旧(英語)全 田島 貞雄

去る2月11日、宮本貴文先生が他界されました。先生は、昭和24年頃から昭和40年まで港工業高等学校に勤務されておりました。それから都立多摩工業高校に転任されました。わたしは昭和28年から39年まで、港工業高校に在職しておりましたが、同高校の親しき同僚が1人、2人と幽明境を異にしてゆかれるにつけ、寂寥感に駆られております。

旧(電気)全定 深澤 春三

港工同窓会定期総会の御案内を頂きお礼申し上げます。小生胸椎圧迫骨折してより遠出が不自由になり、今回も折角の御案内を頂き年出席できずにおります。私自身申し訳なく思っておる次第です。これからも出席できる確率は零に近いと思われ、恐れ入りますが今後については何分よろしくお願い致します。これからの取扱いについてはお任せします。港工同窓会のご発展をお祈り申し上げます。

旧(給食)定 佐藤 清子

いつもお手紙有り難うございます。私も地震いらい停電でエレベーターがとまり、階段歩き、腰痛、ひざのいたみがひどくなりました。気持ちだけは若いつもりなのですが

旧(数学)全 両角 亮一
港工が閉校になってから7年が過ぎました。それぞれの時代でそれぞれの思いがありますが、近くまで行っても校舎を見るだけで、また周辺も変わり淋しい限りです。港工で生活を共にした我々にとつてはいつまでも心に残る場所であり続けることだと思います。

旧(社会)定 藤崎 ミヤ子
完全にリタイアしてからもう4年、現職の頃のことは段々記憶から遠のいていくように感じます。3月11日の東日本大地震と原子力発電所の災害はたくさんのことを考えさせられます。特に科学が技術と結びついている分野を学び、その職につく人々に、「哲学」が必須であると強く思うとき、社会科教師であった自分を顧みて忸怩たるものがあります。皆様のお祈りをお祈り申し上げます。

旧(機械)定 福富 千明
在京45年。これほど身の危険を体感した揺れは初めてです。震源地周辺は、大勢の卒業生の出身地です。ただただ速報を見聞きするたびに、安否を呟くことしかできません。失意の胸には、励ます言葉さえ失う。どうか無事であつて欲しい。

旧(電子)全 北島 敬巳
最近、クラス会をやつていません。

旧(電気)全定 砂川 海廣
残念ながら出席できません。皆様方に宜しくお伝え下さい。

旧(国語)全 大羽 吉介
3年前に退職致しました。港工業をはじめとして33年の教師生活でした。今はゆつたり、心安らかにをモットーとして趣味の海釣りやそば打ちを楽しんでいます。

旧(英語)全 甲斐 徳隆
ラジオ深夜便で元気をもらつています。100歳をホノルルマラソン42.195キロを走るを目標に、頭を使い、足腰を鍛えています。昔の都立高校は良かった。もつと遊びを！

旧(英語)全 馬場 幸雄
港を船出してからちょうど30年、若かった私も還暦を迎えてしまいました。港では若さと一生懸命さだけでした時、私の担任したS52年1Mの生徒たちも50歳、また皆で会いたいですね。

旧(英語)全 佐藤 芳教
都立田柄高校に勤務しています。

旧(体育)全 小川 幸吉
思いやりのある教職員の方々、そして志のある生徒に感謝です。

旧(電気)全 山川 正
趣味として、近世の古文書の解説の学習をしています。

旧(数学)全 田神 仁
私は、4月から都立広尾高等学校校長として異動しました。杉並工業高校に5年いましたが、入都以来の普通高校です。今後も工業高校を応援していきたいと思っています。

旧(英語)全 久保田 省吾
引き続き日刊工業新聞社で働いています。

旧(国語)定 持田 ひろ子
今年も春がめぐつてきました。愛宕山も日比谷公園も花に恵まれる季節です。

年々歳々花相似たり
歳々年々人同じからず(劉廷芝)
みんな昔のことになってしまいました。

旧(国語)全 林 輝彦
この所、体調不良につき失礼させていただきます。

旧(電子)全 本杉 不二夫

私たちは、福島の生まれ、原発をウランでいる。身内は無事でも農作物の風評で困っている。原発を止めて、私たちが節電して行く必要がある。全て明る過ぎる。これだから心配である。抜歯して、只今治療中です。70才まで働いて、後は奥那須の北温泉のんびり行きたい。

旧(事務) 草間 茂也
近況、病気療養中、誠に申し訳ありません。欠席させて頂きます。会の発展をお祈り申し上げます。

旧(事務) 瀬戸山喜陽子
幹事さん、御連絡頂きありがとうございます。私は平成22年3月退職、主人も本年3月都の嘱託を退職致しました。2人でのんびりと、と思つていた矢先のこの大震災。生かされていることに感謝し、少しでも協力をと思う今日この頃です。

旧(自動車)全 大塚 健一
東北の大震災の影響は同窓生の中にもあるのではないかと心配です。港工で磨いた知・技・心で日本の復興に向けて微力ながら努めたいと思います。

(敬称略)

昨年の総会雑感

港(全) 8期M 海野 鑑一

平成22年6月19日(土)六郷工科高において定時総会を開催。定刻の午後1時より上程された各案件は前田武男議長により慎重審議の結果、役員選任の件も含め提案どおり承認可決。かくして前田会長率いる港工同窓会は新年度に向けてスタートをしました。

経過時間に余有のあったことから飛び入りプログラムの形で8期卒の前田武弘君当会長とは一字違いの別人)により昔なつかしい紙芝居の披露があった。



アメやせんべいなどの販売がある筈もない。50歳代以上の人であれば誰れしも経験があるところで、フクちゃん、ノラクロ、タン吉タンクロウ、或いは黄金バットなど演目が用意され、駄菓子類の売れ具合で上演時間が若干変わる。同じ町に午前と午後異なる紙芝居がやって来る。粗末な服、テカテカの袖口。鼻たれ小僧達がうようよ出て来る。

この日前田君のバック中には夕方から公演予定があり、道具一式が入っていた。小生には総会の直前に相談を受けて前田会長に取次ぎしたところ、当然のことながらNGが出た。しかし、総会が予定時間より早く終了したことからOKが出た。

決してお世辞にも上手とは云えない。そこがプロとは一線を画するところだ。しかし小生は前田君が市井文化である紙芝居を今の世の中に伝えたいという情熱である。

地域社会の子供達や老人ホームなどに出席して奉仕している。彼自身今の子供達はパソコンなどスイスイ使いこなしている現代だからこそ手作りによる伝達文化を大切にしたいとか。完璧なアナログ人間だ！スローフードも見直されている昨今、会長のOKサインも含めて心が洗い直される一幕でした。

かくして、第二部の懇親会場へと向かう。途中の母校校舎(3月まで



警視庁が使用中)25期の小林定夫氏(警視庁総務部施設係長)の案内で見学、旧校庭で記念撮影する。(本来構内撮影禁止だが、職員の撮影ということでOK)

参加各位の脳裏に去来するものが多くあったものと思います。

午後4時からの懇親会場(愛宕山・東急インH)にて開演。教職関係者7名含む全18名の参加。

平成16年を最後に卒業者の出ない同窓会。あと半世紀を待たずに消滅するであろうとは申せ、何ともさびしく情けない有様です。

第一部・第二部を通じて前田会長のあいさつにも心なしか今ひとつ「力」が入らないと感じたのは他な

らぬ会長自身が一番感じたのではないかと。締めめのあいさつで来年はせめて倍増させたいものと皆さんのご努力をお願いして閉会となった。

追伸、当日の宴会中の酔談。

母校校舎は近未来には消滅し、やがて森ビルか医大病院の付属施設としてモダンなビルになるのか!と。

―かたはらに秋くさの花かたるらくほろびしものはなつかしきかな―若山牧水の詩ならずとも時代の移りゆく姿か・・・現地ですすがとなり得るとせば愛宕山神社の石段のみか。



たかが紙芝居

されど紙芝居

港(全)8期M 前田 武弘

私が紙芝居のボランティアを始め、8年になります。紙芝居は日本で生まれた、素晴らしい文化だと思っています。その文化はアジア諸国にも伝わり、子供達を喜ばせています。私達が毎日目にしているテレビでも、紙芝居の手法が使われ、ここにも紙芝居文化が生きています。そう！ ニュースバラエティ等によく使われている、シールで伏せ字されているものをキャストが、ピッとがして解説していく、アレです。アレはどう見ても紙芝居です。

私達が子供の頃、あちこちの戦後の焼け跡や、原っぱや路地裏等に、毎日のように回ってくる、紙芝居のおじさんを楽しみに待っていたものです。楽しみは何といつても「黄金バット」です。黄金バットが誕生したのは昭和5年、今から81年前のことです。月光仮面、ウルトラマン、ドラえもんが続く初代のヒーローです。正義の味方黄金バットは、今でも子供達が喜んで見てくれます。8年前までは私が紙芝居をやるなどとは、夢にも思っていませんでした。それは、ある偶然の積み重なりで始まったのです。

私は渋谷へ映画を見に行くために、

山手線に乗っていました。電車は混んでいましたが一つだけ席が空いていたので、私は座りました。ナント、隣にはホームレスが寒そうな格好で座っていたのです。電車は渋谷に着きドアは開きました。私は席を立つ瞬間、何かしてあげたい！と、とっさに思い自分のマフラーをはずしてホームレスが床に置いていた紙袋に入れて、私は電車を降りました。

そんな出来事がずくつと頭に残っていて、それを、少女を主人公にした童話にしてみました。そして、絵本が紙芝居にしてみようと思いたちました。

私は趣味でコーラスをやっています。たまたま(これが第二の偶然なのですが)となりで歌っている人が絵の先生だったので、私の創った童話を見せたら、絵を描いてくれて、紙芝居が出来上がりました。これを見たコーラスの指揮者の先生が音楽を作曲してくれて、音楽つき紙芝居が完成しました。コーラスの仲間の前で演じたのが私の紙芝居デビューでした。

こうなったらもつとどこかで演つてみたい、と思っているうちに第三の偶然が訪れました。何気なく地元大田区のケーブルテレビを見ていたら、私のすぐ近くの

「図書館で紙芝居のボランティアを募集している」といつているでは

ありませんか・・・。私は思わず、「これだ!」と叫びました。早速図書館に申し込み、保育園や児童館、小学校や大田区のイベント等にも参加するようになりました。

おかげさまで見えない力に背中を押され、子供達の喜ぶ笑顔に励まされて、心豊かな第二の人生を楽しませて頂いています。

水泳部の四方山話

港(定)13期E 西原 要四郎

「オイッ!、ボーヤ、自分の好きな泳ぎをしてみろッ」・・・昭和32年5月4日、水温は16度とかなり冷たかったが入部初日の新人でした。天気は良かったのですが、一斗缶の蓋のある方を切り取って、その中に火を燃やして、プールからあがつてそこで暖を取っていたことを懐かしく思い出しています。

皆んな、お手を繋いで家に帰って夕飯どきの時間帯に、授業を終えてプールに入るのが、星の輝いている夜の9時頃であった。

「キメタカツ!」「ハイッ、バックにします」、「そうか俺もバックだッ」

「オイッ、オマエは何にする」僕は「ブレです」と中田君等々新入生の初部活の様です。(なかなか忘れない

ものですね!)

この水泳部の部長は今風(流)に云うならばバググンのイケメン部長でありました。

書いているうちに会いたくなりまりました。定時制の水泳部の方々に会いたいです。湧き出る想い出話をしたくなりました。

この一文をお読み下さいました方々にお願ひがあります。お知り合いのなかに元定時制水泳部だった方がいらしたなら教えてください。或いは

042・725・2638(T&F)で待っているだけでも伝えて下さいませお願ひ申し上げます。

会つて四方山話をしませんか!!



「20周年記念誌より」

分校のあれこれ

旧（理科）全 木内 宗佐

私が高輪工業に着任したのは昭和二十一年の九月末。古い校舎に驚きながら用務員室に入ってみると六平先生がおられた。先生は私を高輪に紹介してくださった島村先生と交代に着任されたのである。私にとって島村先生は国語の、六平先生は英語の小石川工業時代の恩師である。島村先生はたしか石川県の中学に転勤され、後年また世田谷の中学に転勤されてこられたが、不幸病を得て今は幽明境を異にしている。

先生とは、就職のことで当時の教頭芹沢先生（現羽田工業高校長）に紹介していただいて以来お目にかかることはできなかった。常に容姿端正で女性的な感じさえた先生は、戦後の混乱の中で動揺していた私を、今の職業の道に導いて下さった忘れ難い恩人である。

着任の日、早坂校長にお会いして翌日より分校勤務を命ぜられた。芹沢教頭から「君みたいな若い人を分校にやるのは・・・」と危ぶまれながら。

分校へ登校した日、主任をされていた山崎季男先生からいろいろ、分

校の状態をうかがって、いよいよ私の教員生活は始まったのである。

分校で私は一年生の担任となった。六、三、三制の実施によって旧制工業の最後の一年生であり、新制工業の一年生になるまで四年間最下級生活を続けていた学年である。分校での生徒の生活は全ての面で制約を受けていた。運動場は屋上の限られた一部分であり、キャッチボールのボールを屋上から落として、小学校の先生や、近所の人々から苦情を持ち込まれることは再三であった。もちろん理科の実験など思いもよらず、ゴムひもを持ってきてフックの法則の力と伸びの関係を示したのが唯一の実験であった。

早坂校長の非常な努力が実り、現在の校舎が新校舎と決まったそのころ、分校から本校に行くのは週に一回の職員会議のときだけであり、生徒間の連絡はないものと考えていた。しかしある日の午後、授業が終わり、校舎の中が静寂であり、奇妙に思っただ教室にいて見ると、各教室に本校の最高学年の生徒が来て、下級生に厳しく説教していた。話す生徒も真剣なら聞いている生徒の表情は、我々の説諭のときより硬かった。内容は「本校生徒として誇りを持って」ということであつたらしい。クラブ活動などを除いては上級生と下級生

の関係が薄れている現在では見られぬ光景である。本校と分校の生徒の交流は野球試合などを通じて行われていた。試合に使用する球場はほとんど生徒が探してきて、その手続きをわれわれがやっていた。

日比谷公園の広場を借りるためにNHKの下にあつたGHQの係へいって交渉したこともある。ここで分校のチームが本校の野球部のチームを破つたことがある。現在の電気科の加藤先生は、そのときの分校の選手である。本校ではバレーボール部が強かつたと記憶している。電気科の高橋先生は当時のレギュラーであつた。

新橋駅を利用してはいる分校の生徒の通う路は、烏森通りを日赤の方へ左折して日赤本社の前に出る道である。当時の新橋駅附近は、露店の闇市からベニヤ張りのマーケットに変わったころである。

分校の思い出は、私にとって教員生活の第一歩でもあり新鮮な思い出となつてよみがえってくる。現在勤務しておられる棚橋、小神野、田中の諸先生、町田工業高校長の村田先生、勇退された沢木先生など分校時代いろいろと指導していただいた。

港工業高校と校名も変つて今の校舎を全面的に使用するようになった昭和二十三年、分校も併設中学校と

いわれたが、教室は三教室だけを使用し専任も棚橋先生、田畑先生と私と三人だけになって、授業も本校と分校のかけ持ちになってきた。六月ころから熱っぽい日が続き、身体がやせてきたと指摘されたが、私は意に介せず相変わらず張り切つて生活していた。二学期に入って、来日したヘレンケラー女史の歓迎大会が日比谷公園で行われ、生徒をつれて参加し帰宅して熱を測ると、三十八度ぐらいあつたのを翌日は無理して学校に行き、悪寒が続くので学校の近所の姉の家で病床について以来三年有余の私の療養生活は始まつた。

復職を認められた昭和二十六年、学校の名声も上がり、組織も整備されているのを見て、この三年間の先生方のご苦勞を思うとき、私のために定員を空席にしておいていただいた、早坂校長のご好意、理科の先生方のご理解、先生方すべてのご同情に対してなんと私の気持ちを表現したらよいであらうか。

復職後も種々の面でいたわつていただき、復職六年目で結婚してどうやら一人前の仕事をする段階になったとき、私は蔵前工高へ転勤することになったのである。

※原文を一部編集してあります。

※50周年記念誌は次号にします。

会報10号ツイッター（つぶやき）

納豆食べてダイエット、バナナ食べてダイエット、こんなことを信じる“やから”がいるとは考えられない。大体、ものを食べて（+して）答えが（-）＝痩せる、という計算は地球上ではありえない。やせたければ必要以上に食べないか、食べた以上に消費（運動エネルギー）するしかないのだ。

——— バス代節約して歩く人

「インフルエンザ」の流行がピークだ。「かぜ、インフル」は、どこから感染するかご存知ですか。他人のセキのコンコンからだと思っているんじゃないですか。もちろん、これもあります。でも、調べると感染の8割は「手」を経由しているのです。だからインフルエンザ予防には手洗いが絶対欠かせないのです。

——— 病気に強〜いジジイ

日本海側では、寒いと‘必ず’雪が降る。寒ければ寒いほど雪が多くなる。ところが太平洋側（特に関東地方）は寒さと雪とは関係ない。むしろ、関東地方で雪が降るのは暖かくなるのだ。これは雪の降る原理が違うから。関東で雪が降るのは寒気が南下して、沿岸を低気圧が通る時。低気圧は南の暖かい空気を持ち込むので気温が上がる。日本海側は、シベリア高気圧から太平洋側に吹き出した‘寒気’が“暖かい”日本海の上を通るとき大量の水蒸気を巻き上げてスジ状の雲を作り日本列島の山にぶつかり雪となる。

——— いつも天気が気になるE男

先人の教訓

私達の中高生頃に、就職相談に訪れたとき、先生方も周りの先輩方によく言われた言葉、「鶏口と成るも、牛後と成る勿れ」（大きな団体の末尾につくより、小さな団体の長と成ったほうがよい）。現代の就職活動で大企業に採用される事を願って数十社も不採用の憂き目、何故中小企業に目を向けようとししないのだろうか。自分の能力に自信がないのか、自分に目的意識が無く、ただ寄生虫の根性から「寄らば大樹の陰」と云うことか。一枚の歯車の歯で終わる人生、歯車全体を動かす軸になる人生、どちらがやりがいの有る人生なのか。いや人生だったのか、自戒を込めて。

——— 港工同窓生 山元

教室の窓から「東京タワー」が青空に向かって豪快に建ち上がってゆく姿を、自分に置き換え勉強に励んだ思いがある。高度成長のシンボルでもあった。

昨今は「スカイツリー」の高さに注目が集めている。これをシンボルに今一度、より高度な持続的経済成長を目指す機運が、高まらないだろうか。

だけど、若者頼みの年金社会そして、ばら撒き・弱者救済・老人福祉一辺倒の菅内閣では、若い人の意欲も望みも萎えるよな。

——— はりきり親爺

旧校舎はやがて跡形も無く消滅する運命にあります。六郷工高とは私共の同窓会が唯一縁を培っております。

——— 海野 鑑一

事務局からお知らせ

◎会則改定による賛助金のお願い
平成22年度の總會案内及び会報は、全員（住所判明者約5,100部）に送付しました。賛助金は503名の方に送金戴き、前年比約90%でした。

前年と同程度の賛助金につき、本年度も12ページの会報を全員に発送出来ることになりました。

同窓会の収入は会員の賛助金のみです。会報継続のため皆様のご理解をお願いします。

郵政民営化により振込手数料(同窓会へ負担)が高くなりました。

窓口振込 70円 ↓ 120円
ATM機 60円 ↓ 80円

※郵便局のATMを使えば、
①土曜・日曜も振込出来ます。

②同封の振込用紙をそのまま機械に挿入し、金額のみ押せばOKです。

③窓口より待ち時間が早いです。

◎總會会費の事前振込みをお願いします。

受付での現金授受混乱回避等ご理解ご協力をお願いします。

賛助金振込み用紙を使用し、金額欄の2,000円を12,000円(賛助金+臨時会費)にすればOKです。

◎卒業生への諸証明発行について
都立港工業高等学校の閉校に伴い卒業生への諸証明の発行事務は都立六郷工科高等学校において受け付けています。

〒144-8506

大田区東六郷2-18-2

京浜急行「雑色」下車

国道沿い徒歩3分

〒03-3737-6565

ご不明の点につきましては、

東京都教育庁高等学校課

〒03-5321-1111

へお問い合わせ下さい。

◎会員数の把握状況		H23.3月現在	
区分	在籍数	確認数	(亡)
正会員	高輪一本	771	69 (82)
	高輪二本	768	36 (84)
	麻布一本	485	129 (131)
	港・定	3,866	608 (84)
	港・全	9,773	3,678 (248)
計	15,663	4,520 (629)	
特別会員	旧校長	15	6 (9)
	旧職員	626	301 (123)
	計	641	307 (132)

>同窓会の連絡先変更について<

従来(株)クリーンジャパンを退職し変更になり、住所変更の連絡、名簿内容の質問、同窓会ニュースへの寄稿、クラス会他近況等々は下記事務局へお願いします。

記

〒278-0051 千葉県野田市七光台 158-5

港工同窓会 松岡 信之(会計理事・港16期A)

TEL 080-1278-1584 FAX 04-7129-0916

E-mail: matsuka@minatokou.net

☆平成22年度の収支状況

前期繰越額	2,939,102.-
収入の部	1,169,505.-
臨時会	145,000.-
賛助金 503名	1,005,000.-
寄付その他	19,505.-
支出の部	1,409,402.-
總會費 27名	297,949.-
通信費	612,255.-
広報費	276,223.-
文化祭費	7,047.-
事務その他	215,928.-
次期繰越額	2,699,205.-

◇◇◇◇◇
「港工同窓会ニュース」第10号は、六郷工科高等学校の杉野栄一先生をはじめ役員・恩師・同窓生の方々の多数のご協力とご支援のお陰をもちまして発行できました。心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、總會案内の会報製作が遅くなり、總會直前にお届けすることになり、多数のお叱りを頂戴しました。今年中西理事のご助力のお陰で、總會開催の1カ月前になんとかお届け出来そうです。

六郷工科高校での總會、芝パークホテルでの懇親会に、級友お誘い合わせにて、ご参加戴きますよう、お待ち申し上げます。(松岡)

※会員名簿は、個人情報保護の観点から発行予定はありません。クラス名簿は本人確認の上、送付します。

※創立20周年記念誌(昭和41年)

創立50周年記念誌(平成8年)

閉校記念誌(平成16年)DVD付の在庫が有りますので、ご希望の方はご一報下さい。

なお、秋の六郷祭(11月12、13日)の同窓会ブースでも展示します。



第7回六郷祭見学記

港定 9期C 山元 稔

校門を入ると「六郷祭ねぶた」が数機お出迎えた。夕方から町内を練り歩く。地元、水門通り商店会の新たな名物に成りつつある。

平成22年11月13日(土)〜14日(日)、第7回六郷祭が開催された。

正面玄関 校舎に入ると受付、そのすぐ後ろに港工から持ってきた「A型フォード」が開校以来展示されている。1F右側が「オートモビル工学科」。入ると学生諸君の手作り小型の「エコランカー」。排気量50CCのエンジンで、ガソリン1リットル

ルで何キロ走るか?・・・その奥が自動車実習室。残念ながら今流行の電気自動車は見当たらなかった。これからの時代にマッチした教育施設の拡充が望まれる。

2Fは写真展示、ラジコンレースなど。廊下を元気で明るく行き会おう生徒さん達のあいだを、歩きながら行くと突き当たりが「デュアルシステム科展」。そこで思わず釘付けとなった。どの作品を見てもその出来映えが素晴らしく、その場を立ち去りがたく、見とれてしまった。その時、同窓の友人が近寄ってきて「すごいね」と。私も思わず「うーん」と唸ってしまった。さすがデュアルシステム工学科だな、将来頼もしい技術集団だなと嬉しさをかみしめた。

3Fは芸術関係、書道、美術展示など。又、コンピュータ室がありずらりと並んだ機材に、さすが理工系らしいと、感じ入る。

4Fはデザイン工学科展。ここで育った若者が斬新なデザインを考案して世の中を飾ってくれることだろう。そして、軽食コーナー。5Fの調理室で料理した焼きそば、焼きうどん、など食べながら一休み。メイド姿の女子学生がまぶしい。

別棟の体育棟の1Fはプロダクト工学科。2Fでは定時制生徒によるジャグリングや和太鼓の演奏あり。

我が港工同窓会の展示室は1F正面入ってすぐ左、事務室前の会議室。

港工高の歴史を語る写真パネル、同窓会名簿、アルバム、ポスターなどの資料を展示し、喫茶コーナーを設けて休憩所にしました。

前田会長(ご子息の「世界のマジシャン前田知洋」氏(港36期同窓生)のマジックショービデオを常時流しました。何回見ても飽きない。全く不思議ではない。

今年は、特に新しい展示物は無かった。そろそろマンネリになりかかりそうなので、来年は何か考えなくちゃー・・・。何か良いアイデアでもありましたらお寄せください。青春を育ててくれた我が港工の後輩諸君がピチピチとした姿で活躍している様子を是非見に来て下さい。



平成23年度定期総会

恩師出席予定

- 関 透 (第12代校長) ◇
- 明石 明 (自動車) 全
- 加藤 琢二 (電気) 全
- 杉野 栄一 (自動車) 全
- 豊山 州生 (自動車) 全◇
- 西原 要四郎 (教務) 定
- 広橋 恭二郎 (電気) 定
- 両角 亮一 (数学) 全◇

平成23年4月12日現在
◇印は懇親会のみご出席です

恩師 訃 報

- 稲田 耕一郎 (第9代校長)
- 小澤 彰 (電気) 全
- 郡山 繁明 (機械) 全
- 岩澤 欣一 (機械) 全
- 宮本 貴文 (社会) 全
- 中井 禅機 (機械) 定
- 富田 幸雄 (数学) 定
- 南澤 晴夫 (電子) 全
- 保柳 尚 (理科) 定

ご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

理事会のページ

理事旅行小記

港(全) 12期E2 中西 悦夫

雨が心配される天気になってきた。平成22年10月24日(日)〜25日(月)、港工同窓会理事会初めての泊旅行が行われた。

数年前の忘年会のとき「理事会で旅行でもしたら」と言うことが話題になった。その後その話は沙汰止みになっていたが、21年暮れの理事忘年会の折に再び話が出て計画を進めてみるようになった。

始めは仙台居住の理事がいる仙台・三陸方面を検討したが、交通費が多額になることがネックとなり断念した。数回の理事会で検討した結果、第一回ということでもあり近場の鬼怒川温泉ということになった。

当日は現地集合。参加者は車で来たり、東武線で来たりで総勢は会長以下8名。定例の理事会によく出席する連中ばかりだったので特別変わった話題もなかったが、飲み放題で大いに盛り上がった。

鬼怒川が私が幼少(3歳位か?)の頃、疎開(戦後生まれの人には分らないコトバ)した地だ。



翌日は三グループとなり、「直帰組」「車で北上組」「鬼怒川散策組」と分かれた。鬼怒川組は「東武ワールドスクエア」に行くことになった。世界中の有名な建造物が25分の一に縮小されて展示されている。完成前の「東武スカイツリー」も出来ている。そばに「東京タワー」もあるが、比べればやはりデカイ!

その後、日光街道の杉並木を仰ぎつつ日光までドライブ。日本中どこにでも有る「杉」だが間引いたり、手入れをしないから細い。だが、ここは「お殿様の通り道」。手入れをすればこんな太くなるという見本だ。日光方面に行く時間の余裕も無く飲み疲れもあり、駅前で昼食して解散した。

秋の旅行について

上段で紹介してありますが、昨年(22年)理事会有志で旅行しました。第2回として今年もどこか行こうと計画しております。詳細は未定ですが、日程は10月22日(土)〜23日(日)会費は1万円。(現地集合・解散、行き先は伊豆、熱海、箱根周辺を考慮しております。前回は周知ができず理事だけの旅行となりましたが、次回是一般の同窓会員の参加を希望しております。総会までには概要を決めますので、興味のある方(参加の有無に関係なく)資料をお送りしますので、事務局までご連絡ください。

東日本大震災

1000年に一度といわれた今回の大災害。深くお見舞い申しあげます。特に福島第一原発周辺の皆様、住みなれた地を離れ、今後一〇年以上、元に戻れないとも聞きます。

港工同窓生で被害にあったという情報は当会には入っておりません。

仙台在住の浅野理事。連絡がつきまして、重大な被害は無かったとのこと。まずは一安心。理事会としては見舞金を贈ったりすることは致しません。遠くから総会に出席される常連の方。理事有志、個人で何かしようかと考えております。

◇編集後記◇

ツイッター(つぶやき)欄設けてみました。この欄はあえて「横書き」にしました。「若い世代」は横書きを見慣れているし、ちよつと変化をつけてみたかったからです。ご感想をお寄せください。

日ごろ思っていること、一寸気がついたこと、一言云いたいこと、何でもかまいませんから編集部にご投稿ください。ハガキ、メールなどで。

今回の第10号はカラーページを増やしてみました。費用は若干増えるのですが、より見やすく、親しみの有る紙面作りに努めました。

これらの費用はすべて会員の賛助金でまかなっております。第10号は賛助金お支払いの無い方にも大量に発送しております。資金が枯渇すれば一部の方にしか同窓会ニュースをお届け出来なくなります。総会の出席も年々減少気味。従って、この「港工同窓会ニュース」が会員を結びつける唯一の絆。是非、賛助金の納入にご協力ください。

ホームページも開設しておりますが、手不足も有り十分に機能しておりません。申し訳なく思っておりますが、いま暫らくお待ち下さい。若い方でIT関連に強い方、ぜひ理事にご参加ください。(中西)

(連絡先 10ページ)